

第2回 古川洋和さん（鳴門教育大学）

日本心理学会若手の会コラムリレーでは、若手のみなさまに、ご活躍されている領域や普段の生活についてご紹介いただきます。

第2回目は、古川洋和さん（鳴門教育大学）にご執筆いただきました。

私は、臨床心理学（認知行動療法）を専門としています。

ところで、皆さんは「心理療法／カウンセリング」と聞くと、なんだか怪しい（胡散臭い）といったイメージをお持ちではないでしょうか？現在、臨床心理学分野の国際的な動向としては、どのような心の健康問題にどのような臨床心理学的サービスが有効であるかを緻密な統制研究によって明らかにするための試みが数多くなされています。こうした研究成果によって、良質なエビデンスに基づく臨床心理学的サービスをユーザーに提供することが可能となりました。「エビデンスに基づく」と言われると、心理療法／カウンセリングの怪しいイメージは払拭できるかもしれません。

ただし、わが国では、良質なエビデンスに基づかない臨床心理学的サービスが提供されることが少なくありません。その理由の一つに、エビデンスに基づく臨床心理学的サービスを提供できる実践家が少ないという問題があります。こうしたわが国の状況に危機感を持ち、最近では「エビデンスに基づく臨床心理学的サービスを提供できる実践家の育成」をテーマとした研究を開始しました。エビデンスに基づく臨床心理学の発想を普及し、有効性が確認されたサービスを提供できる実践家を効率的に育成するための教育・研修システムのあり方について、現在の研究をきっかけとして考えてみたいと思っています。

古川洋和さん

【ご所属】 鳴門教育大学 〒772-8502 徳島県鳴門市鳴門町高島字中島 748 古川研究室

【ご連絡先】 hfurukawa@naruto-u.ac.jp

【ホームページ】 http://plaza.umin.ac.jp/~furukawa_cbt

【その他】 研究室所属の大学院生とともに、さまざまな活動に取り組んでいます。上記ホームページをご覧くださいと幸いです。